





### 文芸 感謝

三野混沌

詩集出版後、お礼がつけられてから、これを支援する声が大きくなり、土地の新聞も書いて協力してくれました。静かに考え、私は反省しました。こんなことをやることは、この土地では、詩集としては、今迄にならぬものであります。もうこれからは、私には何一つ心配させないで進められたこと、当の私は全く重荷のものを脱ぎ捨てて、申訳なことが、詩集の仕事の内容について、いまさらながら、委任してきたことが、それが、悔しいものであります。

### 自費で林間学校

#### 湯本の金土さん感謝の声

すでに今年で九年目

### 商店界

湯本の金土さん感謝の声。長谷の長松神社境内になつてゐる。本お祭りは十年に一度の盛況。本行事を予定してゐるといふ。ユタカラジオ店の特賣。湯本の子カラジオ店は、往時よりも、自費で林間学校を招き去る。二十一年から夏休み期間内に行つてきたもので、指導者のかわらぬ人形劇、真話、幻燈、紙芝居なども行つており、第二会場は、湯本の子カラジオ店は、往時よりも、自費で林間学校を招き去る。

### 一丁目角に信号機

平市の市内は、大抵に於いては、この目的を以て、一町目の角に信号機を考へてほしい、といふ。今更だ一丁目角に信号機を考へてほしい、といふ。今更だ一丁目角に信号機を考へてほしい、といふ。今更だ一丁目角に信号機を考へてほしい、といふ。

なせならこれ以上は進める言葉がないからです。一枚をいかに私にすて休ませます。いさることいさ、希望といふ欲望といふ、ちよつとした部分の縮めくりで、それが全体をなす。新しい感覚の持主は、昔の香りに満ちて、根ひきは自由の心で、第七期植物の緑葉をなすものです。そして昔木になり、若とするので、愛屋土産の私、今や誠意に訴へられます。耳をすました牝牛が、その上の風が、此年のもうとも、走れぬ、どろろを歩ませよう。何れも介されたものは、あつた。何れも介されたものは、あつた。何れも介されたものは、あつた。

平即興吟 江口榛一。下痢をして下痢のくすりをお飲みながら。麦酒を飲む淵明の徒音は。色すこし悪き君は香は素す。すこやかにしてのものがあつた。川田氏の健康法にて香の山。真清水目に二升は。

### 手頃なお中元調へ

- 平餅四コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅三コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅二コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅一コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅八コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅七コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅六コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅五コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅四コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅三コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅二コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅一コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅八コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅七コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅六コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅五コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅四コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅三コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅二コ入 (小) 九コ入 二二〇
- 平餅一コ入 (小) 九コ入 二二〇

### 開花亭

平市五丁目 電三四二

### 天地堂

平市五丁目 電三四二

### 今夜の映画

- ◎ 繁華 改装のため休館
- ◎ 世界 母時馬 一本力士侵入
- ◎ 里見八犬伝 (完結篇)
- ◎ 平 美男天狗 電燈君上
- ◎ 巨團 廿日鬼と人間 アライ
- ◎ ひかり 水鏡の花嫁 荒神山
- ◎ 二ひかり (二) 肉体の悪
- ◎ 魔 女群魔 狂

### ヨシダカバ

- 牛皮衣 (大) 五五〇
- 牛皮衣 (中) 五〇〇
- 牛皮衣 (小) 四五〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇
- 牛皮衣 (特大) 六〇〇

### 暑中御伺い申し上げます

# 新ふじ

温泉 旅館

TEL 常磐 37

### 平餅

スポーツ用品と服装

## マエダ運動具店

常磐炭礦指定 常磐市湯本横町 電三五五(母)

### 葉の井

平市一丁目 金沢屋 電327

### 名物 じゃんがら

遠地へのお中元に

# みだし

仲田町店 電六九一 銀座店